

道の駅の イメージアップを図れ



島田 榮一



町長

メディア活用等で
アップを目指す



イメージアップが求められる道の駅玉村宿

質問 道の駅玉村宿の評判が今一つである。イメージアップについて策はあるか。

答弁 町長 オープンから3年目を迎えた今年度は、来場者数、売上額も増加傾向で推移している。

メディアを活用しながら、玉村町の玄関口としての役割を果たしつつ、道の駅機能の充実、健全な経営に向けて改善を図り、イメージアップにつなげていく。

質問 J Aしばね支店跡地の活用は

答弁 町長 J Aしばね支店の跡地活用はその後、どうなったか。

答弁 町長 今年度当初予算に、測量及び土地鑑定費を計上した。現在、活用方法は具体的に決定していないが、町の財政状況等を踏まえて方針を検討していく。

質問 勤労者センターの敷地を3年以内にJ Aに返還することになっている。勤労者センター利用者の受け皿の検討はどうなっているか。

答弁 町長 新しく施設を建設するか、既存の公共施設を代替施設として活用可能か、あらゆる選択肢を検討しながら進めていきたい。

質問 鳥獣被害対策は万全か

答弁 町長 鳥獣被害が深刻であり、今後ますますエスカレーター

トするものと考えられる。対策はあるか。

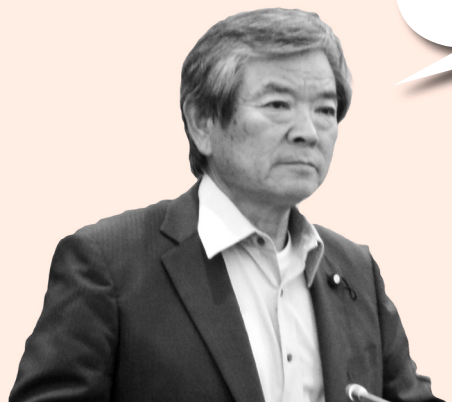
答弁 町長 住民から目撃情報や捕獲依頼があった場合に、猟友会に委託し、檻の設置から捕獲まで一連の作業を依頼している。また今年度は小動物用の檻を5個増やし、ハクビシン等の被害が多発しても対応できるよう対策を行っている。

質問 東部工業団地拡張事業の進捗状況は

答弁 町長 東部工業団地西側の拡張事業はその後、どのように進捗しているか。

答弁 町長 現在、造成工事申請中で、9月中には全ての開発許可が認可される見込みである。今後は造成工事を実施し、企業への分譲は来年度中となる予定である。

地域包括ケアシステムの の今後は



渡辺 俊彦



町長

町全体で取り組めるよう
進めたい

質問 地域包括ケアシステムの現状と進捗状況は。

答弁 町長 「玉村町生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体」において地域課題や解決策の情報等を町民へ提供している。

また、「地域包括支援センターにしきの園」と「地域包括支援センターつのだ」の2カ所を増設し、高齢者の相談に対応できるように機能を強化した。さらに、「認知症初期集中支援チーム」の設置を予定している。

質問 通学路の除草の実情は

答弁 町長 子どもたちの安全確保の観点から通学路の除草は必要であるが、ボランティア頼りでは個人負担が多く、長く続けるのは困難では。

答弁 町長 歩道がある道路に託し、また必要に応じ直営にて実施している。ボランティア団体による除草



安全に登下校できる通学路に

業務を長く続ける取り組みは、難しいのが現状である。道路の除草や水路清掃等の経費を節約するためにも、協働団体が長く続くような支援や施策を模索していきたいと考えている。

質問 教員の負担軽減と部活廃止問題の対策は

答弁 町長 教員の負担軽減対策に文科省も動きだしたようだが、町の取り組みは。

答弁 町長 現在町では、教員の負担軽減策として夏

期休業中1週間の一斉休暇、定時退勤の推進、校務管理システムの導入、町費による教育支援員の配置などに取り組んでいる。教員の負担軽減を図る名案はないが、改善策を地道に積み上げることが大切と考える。

質問 中学校の部活動廃止問題については。

答弁 町長 部活動によって、は、チームとして成り立たない現状もある中、外部指導員等への委託等も考えられる。今後も中体連のあり方の検討や教員多忙解消に向けた協議会の検討結果などをもとに対応していきたい。

こんな質問もしています

・共同墓地の必要性について